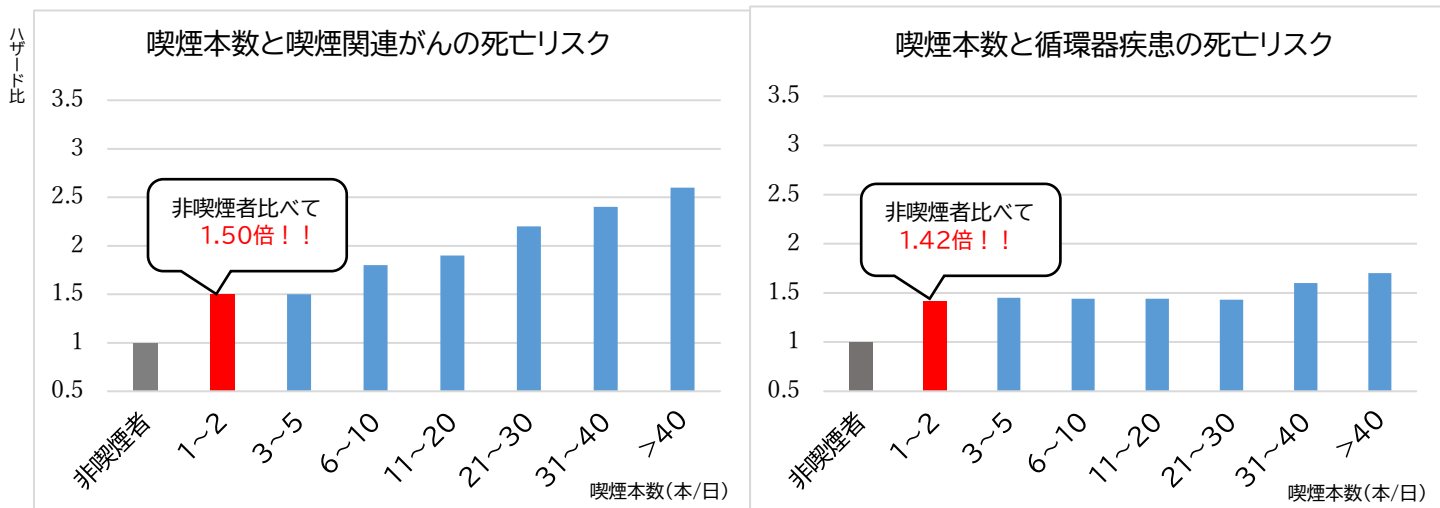


少ない本数でもリスクは上昇

2021年の国立がん研究センターのデータによると、1日1~2本の喫煙でも、非喫煙者と比べて喫煙によるがん・循環器疾患の死亡リスクは高まることが報告されています。近年、喫煙率は減少傾向にありますが、1日当たりの本数1~10本の割合は増加傾向にあります。少ない本数だからといって疾患のリスクが下がるわけではありません。下の図は男性の喫煙本数と疾患の死亡リスクを示しています。少量でもたばこの有害物質を取り込むことは疾患の死亡リスク上昇につながります。



引用:国立がん研究センターがん対策研究所予防関連プロジェクト 科学的根拠に基づく癌リスク評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究「日本人における低用量喫煙と死亡のリスク」

「禁煙が気になっている…」 「やめるきっかけがない…」 「一度断念した…」 方へ朗報！！

2024年9月2日(月)~禁煙プログラムの募集を開始します！！

先着 **50** 名様



禁煙

みんなで
がんばる！



お申込みはお早めに！！